

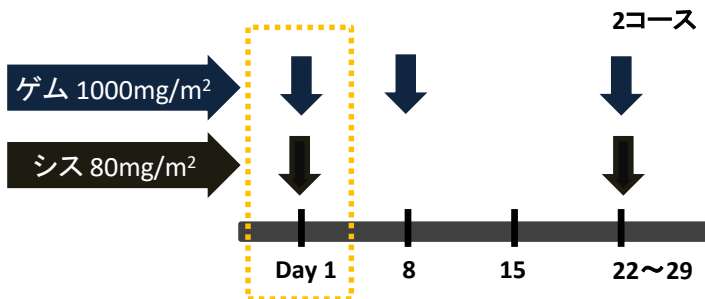
シスプラチン80+ゲムシタビン+FPD療法

PVCフリー
フィルターなし
催吐リスク: 高度

レジメン概要

投与はシスプラチンday1、ゲムシタビン day1.8、
3~4週毎とする。
必要に応じて、day2-4にデカドロン錠8mg、
day1-4にオランザピン5mg 1×夕食後を内服する。

細胞障害性分類
シス: 炎症性
ゲム: 炎症性



処方

Day 1

Rp 01 点滴静注
硫酸マグネシウム.....8mL
KCL注20mEqキット.....1本
生食 1L.....1袋
* ルートキープもかねる
メイン(2)以降の薬剤が届き次第、
500mL/hへ速度変更 300mL/h

Rp 02 点滴静注
パロノセトロンバッグ0.75mg...1袋
デキサート注9.9mg
アロカリス注235mg
120mL/h

Rp 03 点滴静注
生食 100mL1本
ゲムシタビン 1000mg/m²
200mL/h

Rp 04 点滴静注
生食 50mL1本
500mL/h

Rp 05 点滴静注
生食 500mL1袋
シスプラチン 80mg/m²
* シスプラチン容量分を廃棄 500mL/h

Rp 06 点滴静注
生食 250mL1袋
* 側管からフロセミド(20)ワンショットあり
終了後、抜去 500mL/h

Rp 07 点滴静注
フロセミド20mg.....1A
* メイン(6)投与中に側管よりワンショット
看護師実施可

Day 1~4 必要に応じて

Rp 01 内服 day2-4
デカドロン錠8mg

Rp 02 内服 day1-4
オランザピン錠 ..5mg 1×夕食後

注意

水分負荷をしていない為、
飲水の必要性を指導すること。

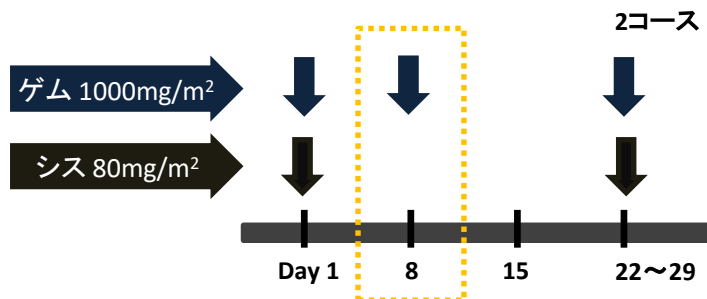
シスプラチン80+ゲムシタビン+FPD療法

PVCフリー
フィルターなし
催吐リスク: 高度

細胞障害性分類
シス: 炎症性
ゲム: 炎症性

レジメン概要

投与はシスプラチンday1、ゲムシタビン day1.8、
3~4週毎とする。



処方

Day 8

Rp 01 点滴静注
生食 50mL1V
* ルートキープ 残廃棄可 10mL/h

Rp 02 点滴静注
グラニセトロンバック1mg.....1袋
デキサート注3.3mg
750mL/h

Rp 03 点滴静注
生食 100mL1本
ゲムシタビン 1000mg/m²
200mL/h

Rp 04 点滴静注
生食 50mL1本
* 流し ポンプ外してクレンメ全開
終了後、抜去